

予算決算委員会都市経済分科会会議録

招 集

令和5年9月29日（金）本会議休憩中 委員会室

出席委員（9名）

（分科会長）田 村 謙 介 （副分科会長）大 下 哲 治
岡 田 啓 介 奥 岩 浩 基 徳 田 博 文 中 田 利 幸
又 野 史 朗 松 田 真 哉 森 田 悟 史

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

【経済部】若林部長

【文化観光局】深田局長

[観光課] 田仲課長 宮前観光戦略担当課長補佐

出席した事務局職員

松田局長 田村次長 森井議事調査担当局長補佐 松下調整官

傍 聴 者

安達議員 稲田議員 今城議員 岩崎議員 門脇議員 国頭議員 塚田議員
津田議員 戸田議員 錦織議員 西野議員 森谷議員 矢田貝議員 吉岡議員
渡辺議員

報道関係者0人 一般0人

審査事件

議案第90号 令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第5回）

~~~~~

### 午前11時18分 開会

○田村分科会長 ただいまから予算決算委員会都市経済分科会を開会いたします。

本日は、先ほどの本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち当分科会の審査担当とされました議案1件について、審査をいたします。

経済部所管について審査をいたします。

議案第90号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第5回）を議題といたします。

当局の説明を求めます。

田仲観光課長。

○田仲観光課長 それでは、議案第90号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第5回）のうち本分科会に付託されました経済部所管の事業について説明いたします。説明は歳出予算の事業の概要により行います。

それでは、歳出予算の事業の概要の1ページを御覧ください。米子城跡を中心としたインバウンド向けコンテンツ造成事業でございます。これは、令和4年度に続いて、米子城跡周辺のコンテンツ造成などを実施するもので、米子市観光協会が提案した事業が観光庁

の補助事業に令和5年8月31日付で採択されたことから、本事業の実施に必要な資金の貸付及び補助を行い、米子城跡周辺のインバウンド誘客に向けた取組を行うものでございます。説明は以上でございます。

○**田村分科会長** 当局の説明は終わりました。委員の皆様の質疑、御意見をお願いします。  
徳田委員。

○**徳田委員** この概要書を見させていただいてまして、事業の概要ですけども、インバウンド向けコンテンツということで、グルメ、和文化体験等と書いてあるんですが、具体的の中身について教えていただけますでしょうか。

○**田村分科会長** 田仲課長。

○**田仲観光課長** 具体的な事業内容ということでございますけども、以前の事業で城下町の体験ルートというのを策定しました。このたびの事業で、それをインバウンド向けにするものでございまして、先ほど言いましたグルメにつきましては、米子牛骨ラーメン、475パフェ、鯖シャブといったところを考えておりまして、あと、和文化体験につきましては、茶道体験、和菓子作り体験など、城下町で体験できるものを想定してございます。以上です。

○**田村分科会長** 徳田委員。

○**徳田委員** 分かりました。いいです。

○**田村分科会長** ほかにありますか。

岡田委員。

○**岡田委員** 先ほどの徳田委員の質問で、これはそういったもののイベントに対する補助、それともイベントを主催するための費用ということなんですか、さっき言った牛骨ラーメンだとか、何か茶道とか、そういったものの、何か普及を図るとか、そういうイベントをされるための費用ということですか。

○**田村分科会長** 田仲課長。

○**田仲観光課長** 内容としましては、モニターツアーを実施する費用でございます。

○**田村分科会長** 岡田委員。

○**岡田委員** モニターツアーというのは誰か募集されて、その費用を全部ここで持つから、そのためのお金が必要だということですか。

○**田村分科会長** 深田文化観光局長。

○**深田文化観光局長** 少し補足させていただきます。今、観光課長が申し上げたようなことをするんですが、最終的な目標としては、米子城跡、城下町を回遊するインバウンド向けのコンテンツの造成でございまして、その具体的な中身といたしまして、先ほど申しました食に関することですか、あるいは和文化体験、そういったようなものを商品として今後造成していけるようにするものでございます。

○**田村分科会長** 岡田委員。

○**岡田委員** 同じだがん、言ってることが。その例えばイベントをやっているとところに協賛するからそこにお金がかかるとか、自分で牛骨ラーメンのマップを作るのに、例えば200万かかるからとか、その具体的に何に使うのかということは今聞いてんですよ。

○**田村分科会長** 田仲課長。

○**田仲観光課長** 先ほど申し上げましたツアーの実施の費用に加えまして、今回、グルメ

のパンフレットの的なものもつくりますんで、そちらに費用っていうのもかかってまいります。あと、情報発信としまして、訪日外国人向けのウェブサイトでの観光情報の発信なども行ってまいります。そういったところに費用がかかってくるというところでございます。

○**田村分科会長** 又野委員。

○**又野委員** 先ほどからちょっと中身が分かりにくいということが、私もちょっとその気持ちがあって、この観光協会が提案した事業が採択されたっていうふうに書いてありますが、どのような中身なのか分かるものっていうのがあると思うんですけど、そういうのって資料として、後でもいいですけど、もらえたりするものですかね。

○**田村分科会長** 田仲課長。

○**田仲観光課長** 事業概要がございますので、またちょっとまとめたものを提供させていただきたいと思います。以上です。

○**田村分科会長** よろしいですか。

中田委員。

○**中田委員** 観光協会の貸付金で、後でっていう。今話が出ている内容だと思うんです。これは結局、私もちょっとはつきりしなかったんですけど、観光協会としてこのインバウンドを造成するために、モニターツアーをする。そのモニターツアーをして、これで行くと、SNSで発信してもらおうような、インフルエンサーというか、そういう人たちにモニターツアーに参加してもらって、それで造成につながるようなことと同時に、その人たちに発信してもらうためのモニターツアーを開催する。それに対して、かかる費用を貸付する。それでいいんですかね。

○**田村分科会長** 田仲課長。

○**田仲観光課長** 今、中田委員がおっしゃられるとおり、インフルエンサーを招へいして、コンテンツ造成して、それを発信していくのも一つですし、先ほども申し上げましたけども、訪日外国人サイトでの情報発信、そういったことも、あとパンフレット作成ですね、そういったこともこの事業で行ってまいりたいという具合に考えております。

○**田村分科会長** 中田委員。

○**中田委員** そうしたら、要望になるかもしれませんが、同時に発信するということになると、言ってみれば、モニターツアーで完成させていくふうなことを狙っている前の未完成なものを、言ってみれば、魅力として未完成なものを同時に発信し始めるというように聞こえるので、やっぱりモニタリングをしてもらうときに、その人たちに、これはもうどんどん紹介したほうがいいのかと思ってもらえるような組み立てを観光協会さんが組み立てとるっていうことは、国の採択も含めて先ほど出ました。ある程度その辺があるんだったら安心して、…（聞き取れず）…ことになるんですけど、その見通しというか、内容的な見通しがある程度出来上がって、モニターにも来てもらって、同時に発信できるような段階にコンテンツ自体がなってるのかどうかというのが気になったものですから質問したんですけど、どうですか。

○**田村分科会長** 伊澤副市長。

○**伊澤副市長** 私のほうからお答えさせていただきます。主な内容は、モニターツアーを多分2本ぐらい打つと思いますが、これは観光協会が観光庁に出しておりますけども、観

光協会だけでということではありませんので、旅行事業者、あるいはマスコミ、こういったところと、アライアンスと言いましょか、…（聞き取れず）…も含めてですね、観光庁の採択を受けたということでもあります。主な内容は、恐らく2本ぐらいになると思いますが、モニターツアーを募集いたします。在日の外国人の方、あるいはもちろん日本人の方は入ってくると思いますが、その中に具体的内容は実際どうするのかというのはこの予算を認めていただくと、関係者と協議して決めていくことになりますけども、その中にインフルエンサー、今、台湾の方を考えておりますけども、台湾あるいは韓国といったやなところのインフルエンサーの方をモニターツアーに参加していただいて、ただし、それをそのまま発信できるほど、残念ながら、商品の完成度がありません。モニターツアーってそういうもんでありますので、一緒に旅を楽しんでいただいて、参加していただいた方からはいろんな御意見、もうちょっとここはこうしたほうがいいのか、ここは段取りが悪いよとか、ここは面白かった、ここはもうちょっとというような御意見をいただいて、実際の旅行商品の造成に生かしていく、これが目的であります。そして、最初は多分インフルエンサーの方には同じように御意見をいただくものと併せて、パーツパーツで十分に発信に耐えるものを見つけていただいて、御発信いただく。あるいは段々とそれをストーリーとして、つながるものとして発信していただくと、こんな営みになるんだろうというふうに思っております、併せまして、その営みの中でそれらをつないだような、現地のガイドマップと言うんでしょうか、こういったようなものも多言語で作るようなことも一緒に考えたいというふうに思っております。いずれにしても、国の採択を受けましたので、この資金を有効に使うって、次につながる旅行商品の造成にチャレンジしてまいりたいと、このように考えております。以上です。

○**田村分科会長** 中田委員。

○**中田委員** 分かりました。今回の議案自体は交付されるまでの資金の貸付ということだと思うので、それ自体は全然オーケーなので、これはここで言うことではないかもしれませんが、ちょうど観光協会の関係で来てるので、そういう有名なというか、頼りになりそうなインフルエンサーがモニタリングの段階で関わってもらおうということを逆にうまくブラッシュアップにつながるような視点をそこで提供してもらって、言ってみれば、関係者側に引き入れるというか、そういった観点がなくなかなか完成度が高いものになっていかなさと思うので、ぜひそういう取組は進めていただくよう要望しておきたいと思っております。

○**田村分科会長** ほかにありませんか。

松田委員。

○**松田委員** モニターツアーということなんですけど、規模感というか、参加者はどれぐらいの規模感で考えておられるんでしょうか。

○**田村分科会長** 田仲課長。

○**田仲観光課長** 現時点では2回、1回で15人程度と考えています。

○**田村分科会長** 松田委員。

○**松田委員** そうすると、2回で30名程度の参加という、募集のイメージということでもいいんですか。

○**田村分科会長** 田仲課長。

○田仲観光課長 おっしゃるとおりでございます。

○田村分科会長 松田委員。

○松田委員 ちょっとその辺り、予算額というか、規模感がちょっと、今ちょっとすぐ浮かびませんが、せつかくの資金なので有効に使っていただきたいですし、リクエストというか、事業の概要をもう少し、この予算の審査をするに当たっては、詳細の資料というのがやはり必要ではないかと思っておりますので、今後お願いしたいなと思っておりますので、よろしく申し上げます。以上です。

○田村分科会長 ほかにございませんか。

〔「なし」と声あり〕

○田村分科会長 ないようですので、以上で経済部所管の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

**午前 11 時 30 分 休憩**

**午前 11 時 31 分 再開**

○田村分科会長 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。

予算決算委員会における分科会報告の意見の取りまとめを行います。

報告に入れる意見につきまして、委員の皆様の御意見を求めます。御意見等ございませんでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

○田村分科会長 それでは、特になかったということで、報告をさせていただきます。

以上で予算決算委員会都市経済分科会を閉会いたします。

**午前 11 時 31 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

予算決算委員会都市経済分科会長 田 村 謙 介